

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2025年 2月 25日

事業所名: 多機能型事業所コーラル

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	6	2			10	1			・隣のホールや活動室等もコーラルが使えるとダイナミックな遊びもできてよいのでは？	スペースの有効活用に努める。	
	2	職員の適切な配置	2	4	2	・医療的ケアが必要な子どもの増加に伴い、看護師の充実を図る事で、安心・安全な医療的ケアを実施する。	10			1		・ニーズに応じてスタッフの充実に努める。	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	7	1		・活動室等を活用することで収納場所の不足が解消された。一人ひとりの特性に合わせた環境については更に研究していきたい。	10	1			・駐車場が不便に感じる。駐車場が狭いので、バギーを出すのも周りに気を遣う。雨の日はカーポートや屋根がないので濡れてしまう。 ・入口に外に屋根がないことは、障がい児の事業所として非常に困る。	・駐車場や雨の日の対応など、利用者に快適に使っていただける環境整備を進める。	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8			・十分にサーキットができるスペースとスヌーズレンが実践できる場所が確保できている。	11					・今後も感染症対策等を徹底し、子どもがリラックスできる空間設定を行っていく。	
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	5	3		・改善点が出てきた場合には、スタッフ全員で話し合いを行い、すぐに改善できるよう努めている。	/	/	/	/	/	・今後もPDCAサイクルを継続していく。	
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	/	/	/	・第三者評価は現在実施していない。	/	/	/	/	/	・第三者評価の活用を検討する。	
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6	1		・今スタッフに必要な専門性について把握し、その都度外部講師を招いたり、事業所内で研修を実施したりすることで資質向上を目指している。	/	/	/	/	/	・スタッフのニーズや必要な専門性に合わせて適切に研修計画を立案し、更なる資質向上に努める。	
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	6	1	1	・HPIにおいて公表予定である。	9				2	・公表した支援プログラムの周知に努める。	
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6	1	1	・スタッフの異動が多く、アセスメントやニーズの理解、共有する時期が後ろにずれ込んでしまいがちになっている。	9				2	・重心児にとって放課後デイサービスでの入浴、送迎は必要な項目だと思う。私にとっても娘にとってもコーラルは安心して過ごせる大好きな居場所なので、入浴や送迎がないことで他の事業所を探さないといけなくなることは避けたい。	・子どもやその保護者のニーズに対応した環境整備や支援計画の作成に努めていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	1		・各担当がモニタリングを行い、ケア会議において全スタッフが確認し共通理解を図っている。	9				2	・客観的な実態把握とそれに対応した具体的な支援内容の選定に努める。	
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	8			・子どもの実態に合わせて、集団活動と個別活動を適宜組み合わせて療育を行っている。	/	/	/	/	/	・実態に合わせた集団活動と個別活動のバランスを客観的に評価し計画を作成していく。	
適切な支援の提供（続き）	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8			・毎日のミーティングの中で支援計画を意識した支援について打ち合わせている。	9				2	・スタッフ一人一人が常に支援計画を意識した活動の実施に努めていく。	
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	7	1		・保育士が中心となって作成した活動プログラムを基に、意見交換を行い修正しながらプログラムを立案している。 ・適宜、保育部会を持ち、活動プログラムの検討を行っている。	/	/	/	/	/	・ミーティングを活用して、活動プログラムを検討していく体制を構築する。 ・保育部会を定期的に実施していく。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	7	1		・毎月の計画を立てる際に、週ごとの活動プログラムを立案し、バリエーションに似た活動を計画・実施している。	10				1	・スタッフ全員でアイデアを出し合うような話し合いの場を設定する。	
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	7	1		・関わりの留意点について、各担当者がその都度意識をしながら関わるように努めている。	/	/	/	/	/	・毎朝の打合せを徹底する。	
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8			・毎朝のミーティングにおいて、支援内容や役割分担について詳細に打ち合わせるようにしている。	/	/	/	/	/	・ミーティングにおける綿密な打合せにより、支援内容や役割分担を確実に理解した上で療育に当たるようにする。	

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
)	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	6	2		・スタッフがそろわない場合が多いが、記録を確認することで、支援を振り返ったり情報を共有したりしている。						・詳細に記録をとることで、情報の共有化を図っていく。可能な場合は、スタッフが集まり情報を共有する時間をとる。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
	11	8			・各担当者が書いた記録をパソコン上で全スタッフが確認することができるようになっている。必要に応じて支援に対する話し合いを行っている。					・定期的に記録の書き方について、意識統一する機会を持ち、スタッフにより差異がないようにする。
	12	6	2		・定期的な見直しを行っているが、時期が遅くなることがある。					・定期的な見直しができるように、年間スケジュールに見直し時期を明記して、見直しが遅れないよう意識する。
関係機関との連携	1	7	1		・必要に応じて行っている。					・今後も児童発達支援管理責任者を中心として積極的にサービス担当者会議に参画していく。
	2	7	1		・必要に応じて実施している。					・今後も連携した支援の充実を図るために積極的に参画を図っていく。そのためにスタッフの勤務体制の整備を図る。
	3	7	1		・保護者を通じて主治医と連絡を図っている。協力医療機関とは、必要に応じて連絡を取るようになっている。					・今後も連携した支援の充実を図るために積極的に参画を図っていく。そのためにスタッフの勤務体制の整備を図る。
	4	6	1		・日常的に情報交換を行い情報共有するようにしている。					・定期的な支援会議を実施するなどして、更に十分な情報共有を図っていく。
	5	7	1		・他の事業所へ移行する際には、十分な情報提供を行っている。					・切れ目のない支援が実施できるよう、丁寧な引継ぎを行っている。
	6	7	1		・専門性向上につながる研修については積極的に受講するようにしている。必要に応じて、専門機関との連携を図っている。					・今後も研修を積極的に受講し、専門性の向上を図っていく。 ・連携体制の構築に努める。
	7	1	2	5	・コロナ禍では、十分な交流ができていない。	4		4	3	・感染症の状況を見極めながら、交流機会を徐々に増やしていく。
	8	1	5	2	・コロナ禍では、十分な交流ができていない。					・感染症の状況を見極めながら、交流機会を徐々に増やしていく。
保護者への説明責任・連携支援	1	7	1		・契約を行う際に、丁寧に説明を行っている。	9	2			・契約時における丁寧な説明を継続して行う。
	2	8			・個別支援計画の作成時、見直し時に丁寧に説明を行っているが、時期が遅れ気味になっている。	8	1		2	・児童発達管理責任者から定期的な丁寧な説明を行うよう努める。
	3	5	3		・ペアレント・トレーニングの機会が十分には取れていない。 ・送迎時に保護者の話を聞き、一緒に考えるようにしている。	5		3	3	・保護者に対して、ペアレント・トレーニングを行う場を設定し支援を行う。 ・スタッフのペアレント・トレーニングに対する専門性の向上を図る。
	4	8			・活動の状況をパソコン上で毎日保護者に公開したり、送迎時に口頭で伝えたりすることで共通理解を図っている。	11				・最近はお返事があまりできていないが、HUGでの活動報告がいつも楽しみである。
	5	8			・必要に応じて実施している。もう少しじっくり話を行う時間が取れると良い。	9	2			・お迎え時に対面でお話できるので共通理解ができていると思う。
	6	8			・保護者参加のイベントを開催し、その際、保護者同士の交流の機会が取れるようにしている。	7	2	2		・機会を捉えて、親子参加型のイベントを開催し、保護者同士の交流の場を設ける事で連携を図っていく。
	7	8			・意見箱を設置し、保護者からの要望を挙げていただいている。	7	1	1	2	・保護者からの苦情や要望があった場合に、迅速に対応できるように、報告・連絡・相談体制を徹底する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	8			・スイッチ教材を用いることにより、意思表示ができるような配慮を行っている。	10	1			・ICT活用（視線入力を含む）を積極的に行うことで、意思伝達を図れるよう支援する。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6	2		・SNSを積極的に活用し、情報を発信している。	9	1		1	・今後も様々な情報提供ができるようSNSの更新を積極的に行っていく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	8			・保護者に個人情報の扱いについての同意書を出していただき、それに基づいて対応している。また、必要に応じて同意を得るようにしている。	10			1	・今後も個人情報の取り扱いについては、十分に留意して対応していく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	7	1		・定期的な見直しとそれを基にした十分な研修を行っていく必要がある。	6	1		4	・スタッフに対する研修の充実を図る。 ・保護者に対して、マニュアルの説明や周知を行う機会を設ける。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			・定期的に避難訓練を実施している。	9			2	・地震、火災については、訓練を実施できているが、訓練に参加できていない子どももいるため、全員に対して実施できるよう計画する。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	8			・てんかん発作の様子を動画等を見ながらスタッフ間で共有している。					・発作時の対応についてスタッフ間で情報共有し、適切な対応ができるよう努める。
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	3		・アレルギーについて保護者からの情報提供を基に対応している。指示書はいただいていない。					・アレルギー対応についてスタッフ間の情報共有を徹底する。
	5 安全管理の徹底	7	1		・子どもが安心・安全に活動できるよう、ミーティング等でスタッフ間の共通理解を図っている。	8	1	1	1	・保護者に対して、安全管理について丁寧に説明し、理解を図る。
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	7	1							・保護者に対して、安全計画について丁寧に説明し、周知を図る。
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7	1		ヒヤリハットがあった場合、報告書に詳しい経緯を記し、再発防止策を検討した後全スタッフに周知している。					・ヒヤリハット事例を蓄積し、重大事故が起らないよう努める。
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	8			・年度当初に研修を実施するとともに定期的にチェックリストを用いてセルフチェックを行っている。					・定期的なセルフチェックを継続する。 ・虐待に係る具体的な事例を挙げ、スタッフ間で注意喚起を行っていく。
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	7	1		・年度当初に研修を実施するとともに定期的にチェックリストを用いてセルフチェックを行っている。 ・身体拘束のマニュアルを作成している。					・定期的なセルフチェックを継続する。 ・必要に応じて組織的な決定を行い、丁寧な説明と了解を得た上で支援計画への行う。